



Release

フランクフルト・アム・マイン

2013年5月22日

ドイツ銀行、15億米ドルのTier 2資本を調達

ドイツ銀行 (XETRA: DBKGn.DE / NYSE: DB) は本日、15億米ドルのTier 2劣後債を昨日発行した旨を発表しました。当債券の10年物米国債に対する発行スプレッドは、+237.5bpsとなりました。

投資家からの強い需要により、発行総額が10億米ドルから15億米ドルに増額され、好条件での発行が可能となりました。当債券は、米国市場で銀行が発行する、初の期限前償還条項付きTier 2ベンチマーク債です。

当行は、4月30日に29億6,000万ユーロの増資を実施すると同時に、20億ユーロの劣後債発行の計画を発表していましたが、今回の起債により、既にその半分超を発行したことになります。

発行条件

発行体：	ドイツ銀行 AG (Deutsche Bank Aktiengesellschaft)
額面総額：	15億米ドル
債券の種類：	Tier 2劣後債
格付け：	Moody's：Baa3 (安定的) S&P：BBB+ (クレジットウオッチ：ネガティブ) Fitch：A- (安定的)
支払順位：	劣後
最終償還日：	2028年5月24日 (15年) (2023年5月24日 (10年後) に、発行体の選択による期限前償還可能)
利率：	年4.296% (年2回利払い、利払いの繰延べなし)
期限前償還：	発行体は2023年5月の利払日に期限前償還をすることができる (期限前償還されない場合、最終償還日までの利率は、 期限前償還日の5年スワップレート (仲値) +224.75bps にリセット)
ドキュメンテーション：	SEC登録
上場：	ニューヨーク証券取引所

以上

本リリースには、将来の事象に関する記述が含まれています。将来の事象に関する記述とは、歴史的事実ではない記述であり、ドイツ銀行の考えや予想、およびその基礎となる前提が含まれます。これらの記述は、ドイツ銀行グループの経営陣が現在入手可能な予定、推定および計画に基づいています。従って、将来の事象に関する記述は、あくまで当該記述がなされた日現在のものであって、当グループはこれらの記述に関して、新しい情報や将来生じた事象があっても、これを更新して公表する責任を負いません。

将来の事象に関する記述は、その性質上リスクおよび不確実性を含みます。従って、いくつかの重要な要因が作用して、実際には将来の事象に関する記述に含まれるものとは大きく異なる結果となる可能性があります。これらの要因には、ドイツ、ヨーロッパ、米国および当グループが収益の相当部分を上げ、資産の相当部分を有するその他の地域における金融市場の動向、資産価値の推移および市場のボラティリティ、借り手または取引相手による将来の債務不履行、当グループの経営戦略の実施、当グループのリスク・マネジメントの方針、手続および方法への信頼性、ならびに米国証券取引委員会（SEC）への情報開示に関連するリスク等が含まれます。このような要因については、SECに提出した当グループの2013年4月15日付年次報告書（Form 20-F）の「リスク・ファクター」の表題のもとで詳しく記載されています。当該報告書の写しは、請求により入手可能であり、また www.deutsche-bank.com/ir からダウンロードすることができます。